新女性対策部長に結集し

県連女性部大会

第38回県連女性部定期大会を5月24日、同和企業センターでひらき16支部76人が参加した。

主催者を代表して松根洋子・女性部長は、憲法9条を改正し戦争のできる国づくりがすすみ、平和・人権・環境が深刻な問題。女性の力で解放運動をひっぱっていかなければとあいさつした。つづいて、県連を代表して池田清郎・執行副委員長は、今年は県連再建40年の節目。女性の活動は大切といいつづけ、活動半ばで倒れた藤本ミヨさんの思いを受け継いで、次の世代に伝えてほしいとあいさつした。来賓として藤本眞利子・県会議員、和歌山県より山崎良彦・環境生活部県民局長、和歌山市より富松真矢子・男女共生推進課長よりあいさつがあった。

2013年度活動報告を竹本雅世・事務局長より報告され、2014年度活動方針（案）の提案を北内ますみ・坂下君代・両副部長よりされた。女性対策部の強化と女性差別を見抜く力をつけ、積極的に運動にかかわる環境づくりをめざすことを提案した。

また、今年は役員改正の年であり、一部規約の改正と新役員が報告された。新役員に山本昌代さんが女性対策部長に選任した

■女性対策部新役員

副部長　山本昌代（芦原）
副部長　北内ますみ（鳴神）
副部長　坂下君代（平井）
事務局長　宮本　睦（那賀）
事務局次長　小嶋仁史（芦原）
事務局長　岸田貴裕（杭ノ瀬）
久保智弘（那賀）

女性差別を見抜く力を誓い合った

女性部長に選任された山本昌代（芦原）さん

今後の日程

（9月）
9／17　第2回執行委員会・第2回県委員会　（同和企業センター）
9／19　県連青年対策部会議　（同和企業センター）
9／22　狭山ビラ統一行動
9／25　第1回全国女性運動部長会議　（大阪市・ホテルベイタワー）

【狭山学習会】
9／26　芦原支部狭山学習会

すべての支部に青年部を

県連青年部大会

第35回県連青年部大会が5月25日、同和企業センターでひらき、13支部59人の青年が結集した。

主催者を代表して、松井資喜・青年部長は「昨年9月に第57回全国青年集会がひらかれ、県連から多くの青年が結集し、和歌山全青を成功させることができた。また、部落差別をはじめ、あらゆる差別を撤廃するために、青年が先頭に立ち、さまざまなとりくみをすすめよう」と呼びかけた。

来賓の藤本哲史・県連書記長、田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長から祝辞をうけ、岸田貴裕・副部長が13年度の活動報告をした。久保智弘・事務局長が活動方針（案）、青年部の組織強化や人権侵害救済法の制定、狭山差別糾弾闘争、行政闘争、組別糾弾闘争を撤廃する組織強化拡大に向けてと提案し、参加者全員の拍手で確認した。つぎに、山本亮輔・対策部員から、今大会の参加人数が報告され、第35期の役員体制について提案があり、参加者全員で採択した。最後に、すべての支部に青年部を組織し、組織拡大にむけてとりくんでいこうと誓う「大会宣言」が拍手で採択され、第35回定期大会が終了した。

■青年部新役員

対策部長　速水雅樹（新宮）
部長　松井資喜（岩橋）
副部長　井端尚司（那賀）

あいさつする松井資喜・青年部長

部落の実態に学ぶ保育士を

全人保活動者会議

6月28日、29日、滋賀県彦根市で14都府県連60人が参加し、14年部落解放全国保育活動者会議がひらかれ、松井辰也・保育担当副部長と事務局2人が参加した。

はじめに、吉岡正博・中央教育文化運動部長から「今年1月に第36回集会を開催した大分県で連絡会が組織されたことは大変喜ばしい」とあいさつした。つづいて、沖村暁美・全人保副会長のあいさつののち、安田茂樹・中央教育文化運動部副部長から第71回全国大会の保育運動方針の説明があり、学習・講演会に入った。

馬淵英明・滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局副参事から「子ども・子育て支援制度の施行に向けた滋賀県の取り組みについて」12年8月に成立した、子ども・子育て3法の趣旨や主なポイント、滋賀県における就学前児童の状況や県単での子育て支援事業保育士確保対策、家庭支援推進保育事業等について説明があった。最後に、第37回全国人権保育研究集会の開催要項や分科会の任務について協議したあと、夕食交流会で一日目を終えた。

各府県連のとりくみ報告と意見交換では、京都から1人親家庭や発達障害を抱えている家庭への支援や対応も考えていかなければならない。「部落の実態に学ぶ」保育士や職員すべての力で子どもたちを見守らなければならないと発言があった。和歌山からも同和保育所の状況や長年の交渉のなかで要求してきた子育て支援センターが、本当に支援が必要な同和保育所に設置されなかった問題など、今後も交渉やとりくみをつづけるとともに、和歌山でも職員同士の意見交換ができる場を設定することを報告した。

社会にある障害をなくそう

第34回人権講座

紀の川市民人権の集い第34回人権講座が6月26日、古和田会館でひらかれ約100人が参加した。

「障害者差別解消法制定の意義と今後の課題」と題して谷川雅彦・部落解放・人権研究所所長兼研究部長から「障害者差別解消法」が制定されるまでの国レベルの動向から国内法が整備される過程、国内で発生した障害者差別の具体的な事例、差別する人とされる人との差別のとらえ方などが説明された。

大事なことは、障害者の権利条約が、これまでの「医学モデル」から「社会モデル」に転換がなされ、これまでは機能障害がある障害者に責任があるという考え方から、「やってあげる福祉」という考え方がつづいた。現在は、障害の責任は社会にある。障害をなくす責任は当事者でなく、社会に責任があるという定義が確立したプロセスについて説明があった。

支局からのお知らせ

お気軽にお電話を！

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

（発送先）〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛